

第三回薬剤師部会企画シンポジウムに対するアンケート調査の結果

平成 30 年 7 月 25 日

薬剤師部会

太田 聡子

酷暑の候、部会員の先生方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 30 年 7 月 22 日に行われました薬剤師部会企画ミニシンポジウムのアンケート調査結果をご報告いたします。

配布や回収率に違いがあり正確な比較となりませんが、昨年度行いましたアンケートの結果も併せて掲載いたしました。

今回は特に薬剤師さんにフォーカスして集計を行いました。

不備等ございましたら、どうぞご指導のほどよろしくお願いします。

アンケート調査のご提案から回収までご尽力頂きました長谷川先生、配布にご協力下さいました佐藤先生、瀧藤先生、羽山先生誠にありがとうございました。

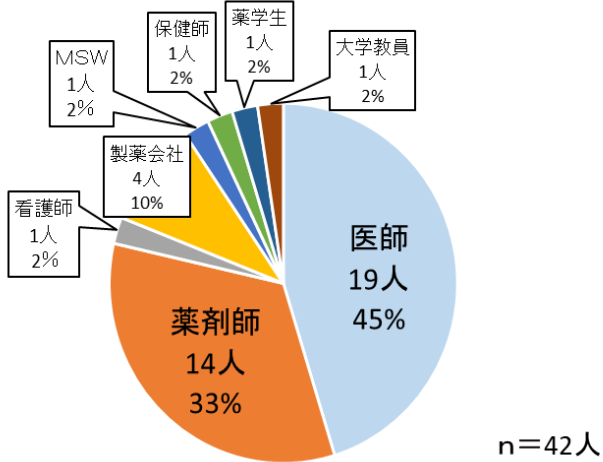
シンポジウム参加人数及びアンケートの配布及び回収方法と回収率

	今年度（2018年）	昨年度（2017年）
シンポジウムのテーマ	グローバル時代における輸入感染症の治療（Vol.2）	グローバルヘルスファーマシーの確立に向けて 薬剤師の渡航医学テイクオフ！
シンポジスト	3人	4人
座長	2人	2人
シンポジウム参加人数 （シンポジスト座長含む）	57人（途中退出者含む）	45人（途中退出者含まず）
調査対象	薬剤師部会シンポジウム参加者全員（シンポジスト座長含む）	
配布及び回収方法	手渡し	
アンケート配布枚数	46枚	39枚
回収アンケート枚数	42枚	24枚
回収率	91.3%	61.5%

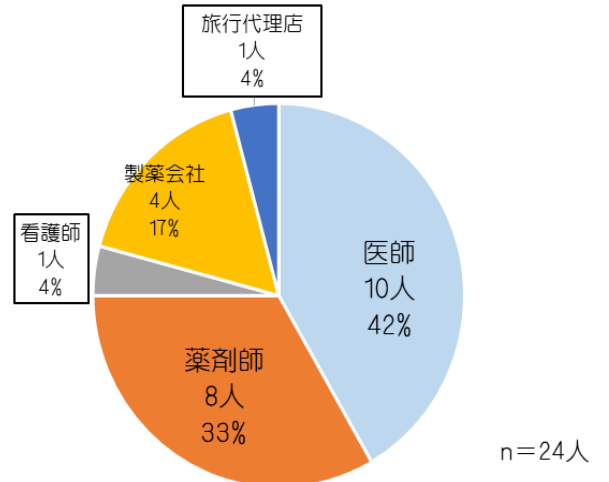
アンケート結果

1. シンポジウム参加者の職業について

1.1 2018年度シンポジウム参加者の職業



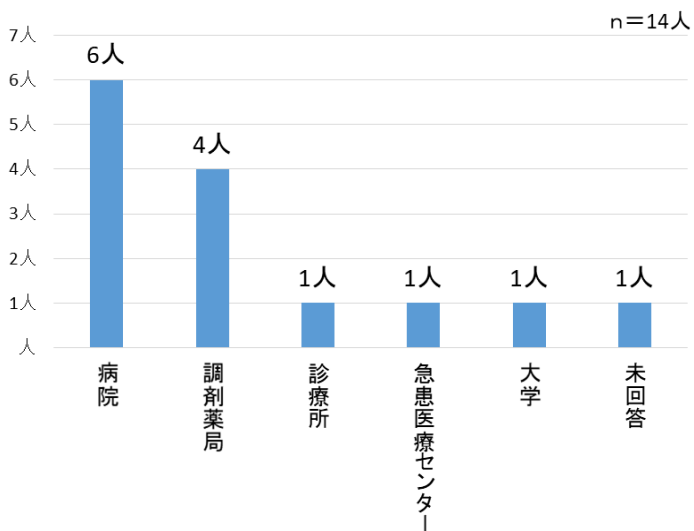
1.1 2017年度シンポジウム参加者の職業



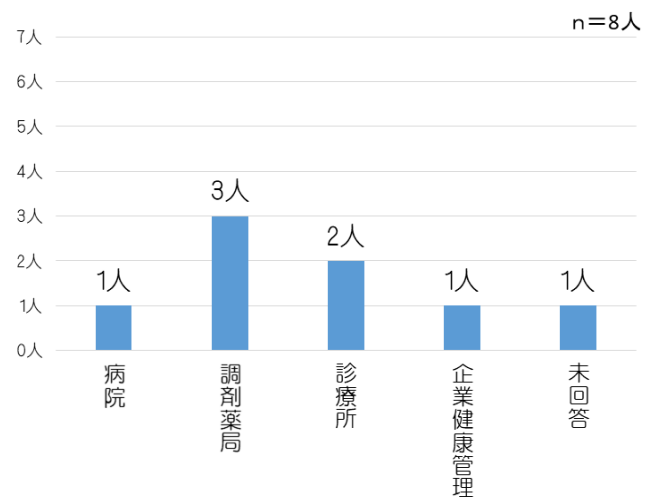
★ 本年度初めて薬学生が知人からの紹介で1人参加されました。

1.2. シンポジウム参加薬剤師の勤務先内訳

1.2 2018年度シンポジウム参加薬剤師の勤務先内訳

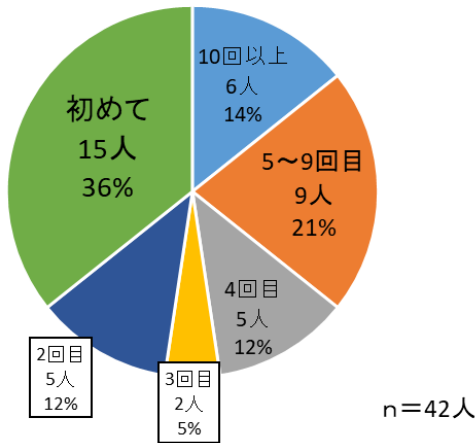


1.2. 2017年度シンポジウム参加薬剤師の勤務先内訳

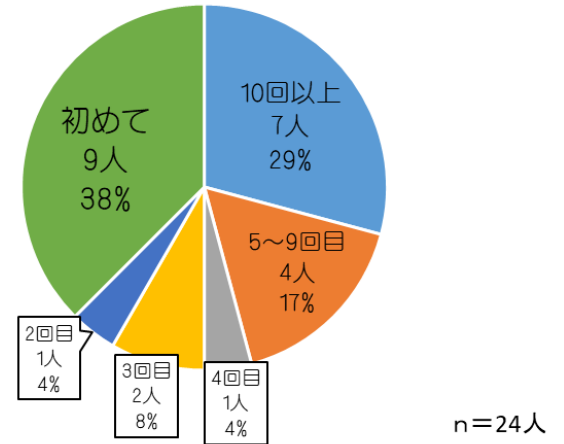


2.1. 日本渡航医学会学術集会参加回数について

2.2018年度日本渡航医学会学術集会参加回数

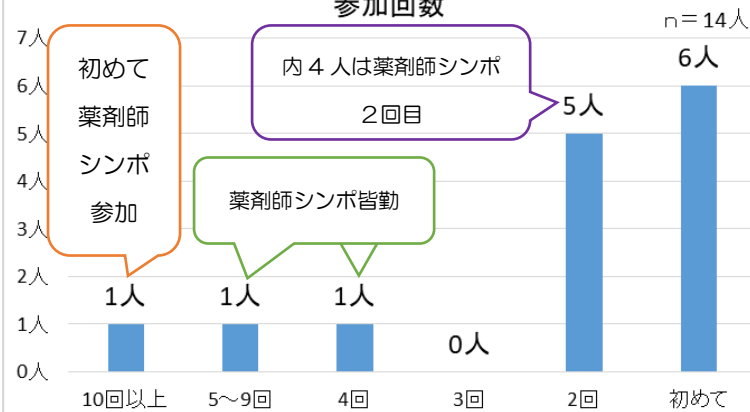


2.2017年度日本渡航医学会学術集会参加回数

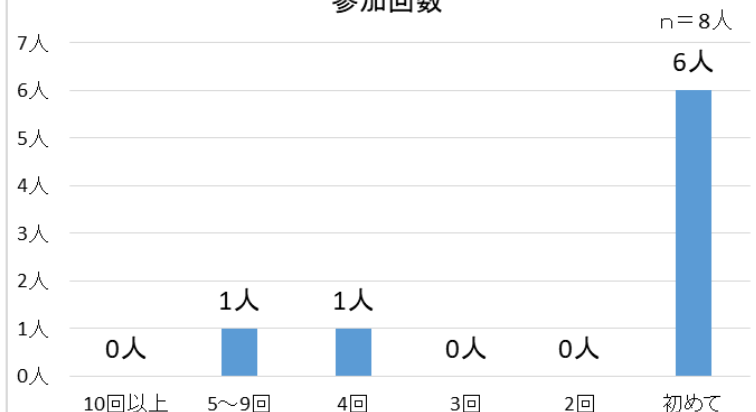


2.2. 日本渡航医学会学術集会に参加した薬剤師の参加回数

2.2. 2018年度薬剤師の日本渡航医学会学術集会参加回数



2.2. 2017年度薬剤師の日本渡航医学会学術集会参加回数

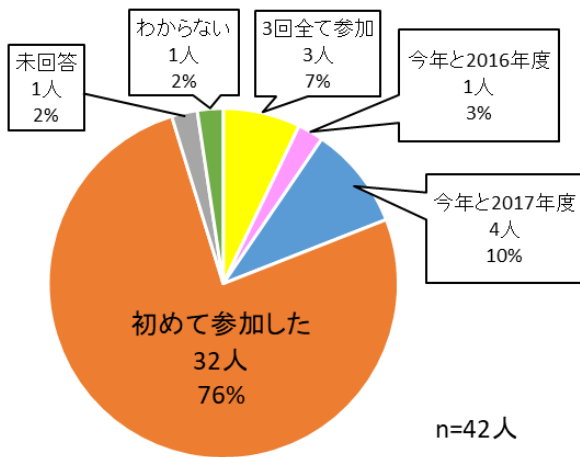


★ 学術集会参加と薬剤師会シンポジウム参加された薬剤師（勤務先）の相関性について
（3.2の薬剤師会企画シンポジウムに参加した薬剤師の参加回数も併せてご覧ください）

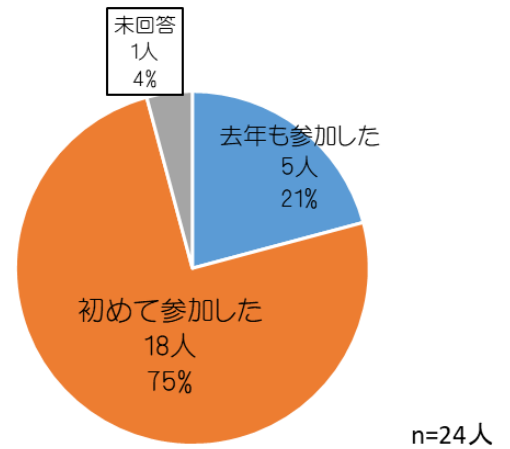
- 10回以上学術集会に参加し、今回初めて薬剤師会シンポジウムに参加された薬剤師は1人（未回答）でした。
- 初めて学術集会に参加し、かつ薬剤師会シンポジウム参加にされた薬剤師は6人（病院3人、調剤2人、急患医療センター1人）でした。
- 昨年度と今年の2回学術集会に参加し、かつ2回薬剤師会シンポジウムに参加された薬剤師は4人、（病院1人、調剤1人、診療所1人、大学1人）でした。
- 学術集会に5~9回参加の薬剤師1人（調剤）、4回参加の薬剤師1人（病院）は薬剤師会シンポジウム3回全てに参加しておりました。

3.1. 薬剤師部会シンポジウム参加回数について

3.1. 2018年度薬剤師部会シンポジウム参加回数



3.1. 2017年度薬剤師部会シンポジウム参加回数



★ 2016年と2018年度の2回参加された方は医師でした。

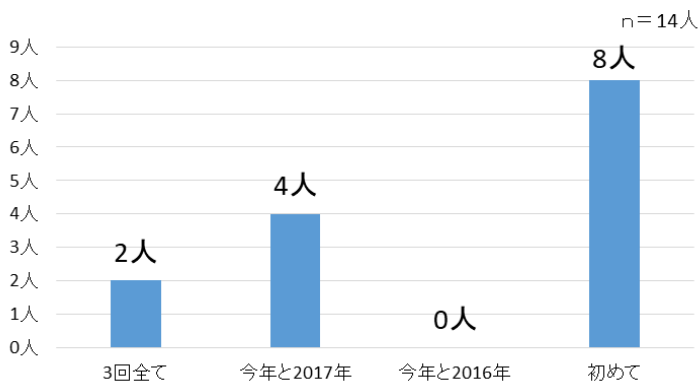
★ 初めて参加した方の職業内訳は以下の通りです。

(単位=人)

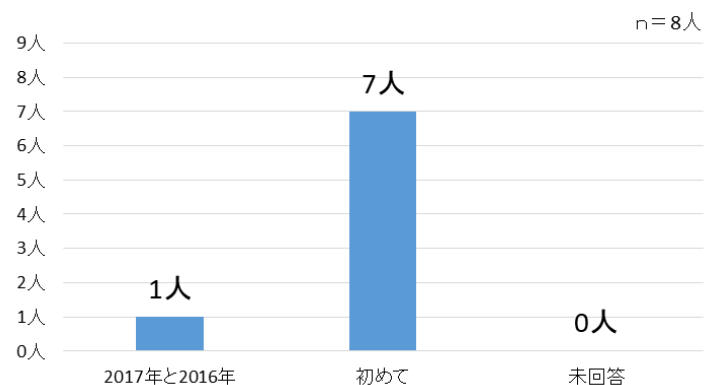
	医師	薬剤師	看護師	製薬会社	MSW	保健師	薬学生	大学教員	旅行代理店	合計
2018年度	16	8	1	3	1	1	1	1	0	32
2017年度	8	7	1	1	0	0	0	0	1	18

3.2. 薬剤師会企画シンポジウムに参加した薬剤師の参加回数

3.2. 2018年度 薬剤師の本シンポジウム参加回数



3.2. 2017年度 薬剤師の本シンポジウム参加回数



★ 今年初めてシンポジウムに参加された薬剤師は合計8人

(病院4人、調剤2人、急患医療センター1人、未回答1人)でした。

★ 3回全て参加された薬剤師2人(病院1人、調剤1人)でした。

★ 昨年度と今年度の2回参加された薬剤師は4人

(病院1人、調剤1人、診療所1人、大学1人)でした。

★ 本年初めて薬剤師部会ミニシンポジウムに参加したうち、学術大会参加が2回目の薬剤師は1人(病院)でした。

4.1. 今回のシンポジウムを知ったきっかけ

4. 今回のシンポジウムを知ったきっかけ		
(複数回答可)	2018年度	2017年度
学会ホームページ	22人	15人
各学会会場のポスターや広告	5人	0人
知人から紹介	6人	7人
プログラム集	2人	1人
抄録集	3人	0人
松山薬剤師会の生涯学習	1人	0人
日経DI	1人	0人
ML	1人	0人
日本渡航医学会会誌	1人	1人
その他	2人	0人
未回答	1人	0人
合計	45人	24人

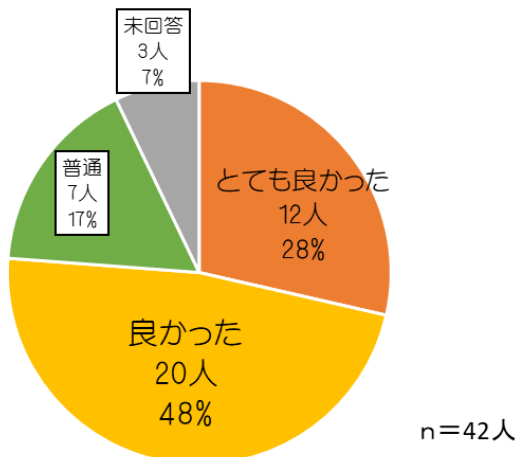
- ★ 各学会会場のポスターや広告を選択した方の内訳は医師 3 人、薬剤師（病院）1 人、看護師 1 人でした。
- ★ 2018年度知人からの紹介のうち 1 件は櫻井先生からの紹介でした。
- ★ 松山薬剤師会の生涯学習で知った 1 人は薬剤師会（調剤）でした。
- ★ 日経DIで知った 1 人は薬剤師（急患医療センター）でした。

4.2. 初めてシンポジウムに参加した薬剤師の方の知ったきっかけ

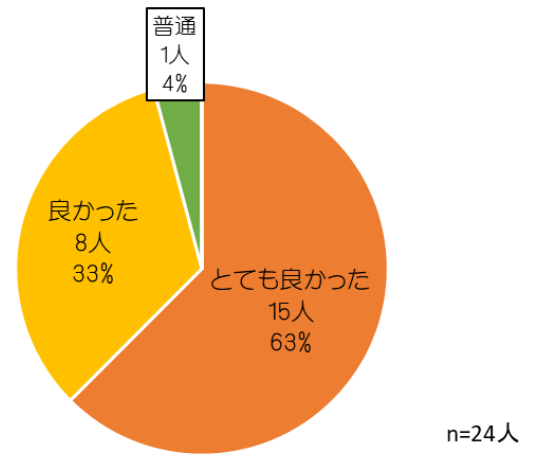
4. 薬剤師でシンポジウム初参加者の知ったきっかけ		
(複数回答可)	2018年度	2017年度
学会ホームページ	5人	5人
各学会会場のポスターや広告	0人	0人
知人から紹介	0人	2人
松山薬剤師会の生涯学習	1人	0人
日経DI	1人	0人
日本渡航医学会会誌	1人	0人
その他	1人	0人
合計	9人	7人

5. 今回のシンポジウムの評価について

5. 2018年度今回のシンポジウムの評価



5. 2017年度今回のシンポジウムの評価



★2018年度のご意見です（2017年度は省略いたします）

【とても良かった方（職業）の意見】

- 薬剤師の方々の臨床現場での重要な役割が理解出来た（医師）
- 日常で目にすることのない薬剤やワクチンの実際について現場のお話を伺えた（調剤薬局薬剤師）
- ワクチンの保管状況や、手元にくるまでの流れなど知る事が出来た。輸入ワクチンと国産ワクチンで違いがあるそうだが、その事も今後知りたい（急患医療センター薬剤師）
- 現場の事を知ることが出来た。（病院薬剤師）
- 薬剤師の方がどういう事を渡航に関して実施しているかを知る事が出来き、良かった（製薬会社）

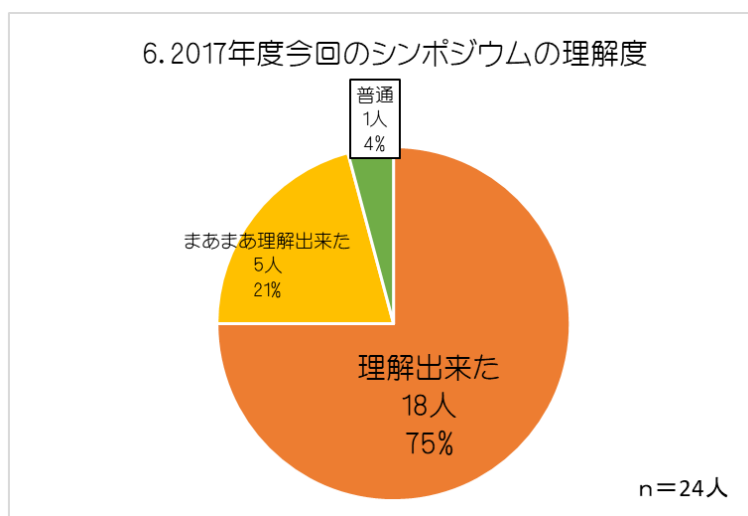
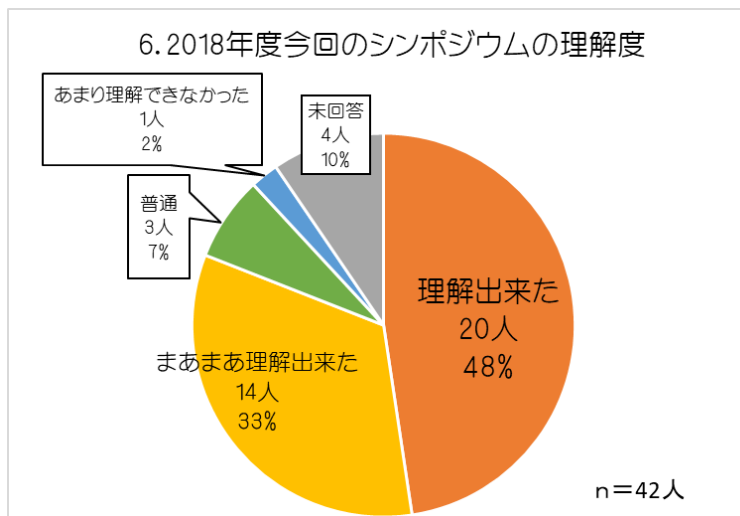
【良かった方の意見】

- 薬剤の専門家のセッションを拝聴する機会となって良かった（看護師）
- 雰囲気を感じた（薬学生）
- 自分とは異なる職種の活動を知ることが出来た（医師）
- こういった場でしか聴けないお話が沢山聴けました（医師）
- 薬剤の供給体制については詳しく知らなかったなので、理解が深まった（医師）
- オーフアンドラッグ（病院薬剤師）
- オーフアンドラッグについて知る事が出来た（調剤薬局薬剤師）

【普通の方の意見】

- 他院の情報がわかり良かった（MSW）

6. シンポジウムの理解度について



★ 2018年度のご意見です（2017年度は省略いたします）

【まあまあ理解出来た方のご意見】

- 厳格な薬剤管理について理解出来た（医師）

【普通の方のご意見】

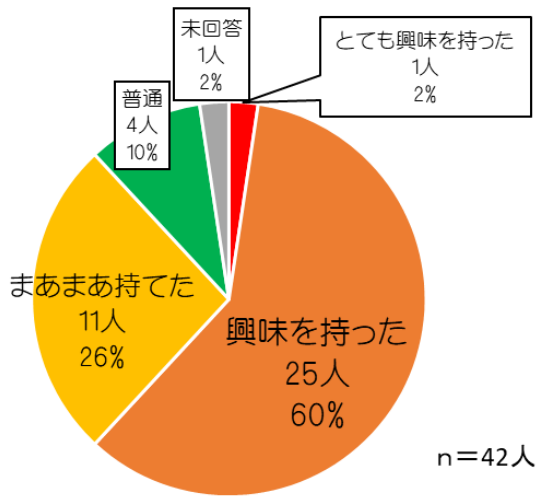
- おさらいになった（MSW）
- 渡航医学の中で薬剤師はどういう役割をはたすべきか、現状はどうなっているのかという内容のうち、現状の紹介にとどまっていた（医師）

【あまり理解出来なかった】

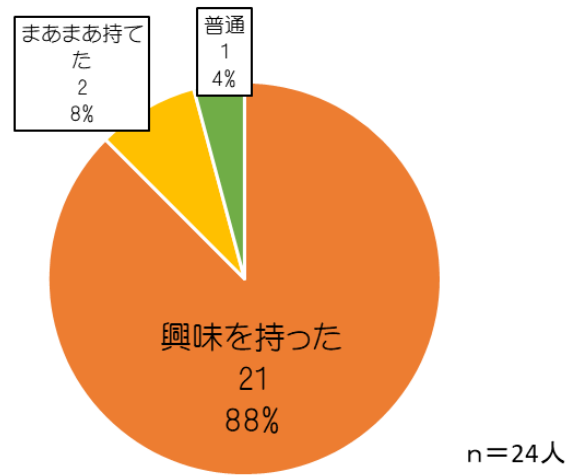
- 勉強します（薬学生）

7. 渡航医学に対する興味について

7. 2018年度渡航医学への興味



7. 2017年度渡航医学への興味



★ 2018年度のご意見です（2017年度は省略いたします）

【興味を持った方のご意見】

- もともとです 2人（医師2人）
- 重要性は以前から認識しております（大学教員）

【普通】

- 既に渡航医学に従事している（MSW）
- 渡航医学の予防内服、スタンバイ治療など、薬剤師としてエビデンスを示す内容が望まれる（医師）

8. 今回のシンポジウムに対するご意見ご感想

★ 2018年度のご意見です（2017年度は省略します）

- 良かった（医師）
- わかりやすかったです（MSW）
- Travel Clinic 特有の在庫管理の苦勞についてもう少し詳しく聞きたかった（製薬会社）
- また3round目をやって下さい（医師）

- 日常業務で渡航についての相談や問題を受ける事が多いので勉強して行きたいと
思います（急患医療センター薬剤師）

- 地元松山の先生のお話も伺えて良かったです（医師）

- 産業衛生学会とのコラボレーションが良いと思います。
トラベルファーマシスト認定制度（スポーツファーマシスト制度は既にあります）
（製薬会社）

- 色々な職種分野の違う業務をされている方のお話を伺える貴重な機会と感じております。
今後も広い視点からのご講演を期待しています（診療所薬剤師）

- 薬に対する感受性は、日本人と他の国々の人との間で同一なのでしょうか？
（同一量で同等の効果が出るのでしょうか？）
など、国際化に対応した研究発表を聴きたいと思います（医師）

- 今回の企画は、とても有意義と思いました（医師）
- 非常に興味深く、勉強になった（製薬会社）
- 勉強になりました（大学教員）

- 地方の総合病院で国内承認ワクチンを使ったワクチン外来をしております。
狂犬病ワクチンをかなり接種しております。
WHOのポジションペーパーの変更に関して、今後の対応を渡航医学会としての
意見を提示していただければ（医師）

- 渡航医学に関連するオーファンドラッグが取り扱われている所を個々の薬品名も
書いている一覧表があれば良いなと思いました。（調剤薬局薬剤師）

9. 薬剤師部会主催のセミナーで扱ってほしいトピックス

★2018年度のご意見です（2017年度は省略します）

- やはりマラリア予防について集中的なセミナーをお願いしたい（医師）
- 渡航用の薬剤セット、衛生セットの提案、事前にタミフルは？（トラベルセット）
海外 Drug で購入可能な薬剤（英語）名での（製薬会社）
- 海外で使用されている薬と国内流通の違いなど、日本との違いについて
（診療所薬剤師）
- 薬剤師部会の発展を祈ります（医師）
- 海外の薬について、特に日本人が良く行く所で病気になりやすい地域
（中国、東南アジア、インド等）（調剤薬局薬剤師）